



下田中学校 研究だより No.5

2020. 8. 23 文責 石崎 千波

研究主題：主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業づくり
～表現力の育成を中心として～

残暑お見舞い申し上げます。生徒たちにとっては例年より短い夏休みが終わり、早速運動会に向けての活動がスタートしています。先生方に於かれましても、まだまだ酷暑が続いていますので体調管理に十分気を付けて、行事の多い2学期を乗り切りましょう！生徒たちの成長のゴールイメージを描いてスタートしましょう！

1. オンデマンド研修「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて～田村 学 国学院大学教授～
＜チーム協議より、2学期の授業改善に向けて取り組みたいこと＞

- ①（深い学びの実現）知識・技能が身につけていないと深い学びにつながらないため、**知識・技能の習得は重要なこと**
- ②（対話的な学びの実現）自己の考えを広げ深めるために、「なぜ、そう思った」のか**根拠をもって言わせる**。その場合、教師の仲介と学級づくりが重要になってくる。
- ③（主体的な学びの実現）考えたくなる**単元目標の工夫（得た知識の実践）＝活用**
振り返りの充実（ノートの工夫）



発表マニュアル参考

2. 自校の課題について 「理解力の差をどう克服するのか？」「専門用語の習得をしないと振り返りができない？」「基礎基本の定着は？」「本校のレベルでの深い学びについては？」など。

また、以上の課題を克服するために「知識理解を身に付ける授業と主体的・対話的で深い学びの授業を分ける」、「発表や話し合い（音声言語）で学びを広げ、文字（文字言語）でつづる」、「深い学びへつなげるためには、教師の切り返し（問い返し）が大切ではないかなど、取り組みについても協議しました。

これらのことを踏まえて、2学期は課題を克服するために「どんなことができるか」「どんな成果があったか」を検証しながらチーム会で研究・実践して下さい。

2. 2学期の研究授業に向けて（チーム会で確認していきましょう！）